

# 令和 6 年度 母子保健指導者養成研修

研修 5：性と健康の相談（プレコンセプションケア）に関する研修

## 事例紹介①

### 医療機関におけるプレコンセプションケアについて

東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座  
上出 泰山

# 自己紹介

---

上出 泰山（かみで たいざん）

主に大学関連病院で産婦人科医として勤務

2011年～2013年：国立成育医療研究センター産科で勤務を  
すると共に「妊娠と薬外来」を担当

2020年：東京慈恵会医科大学附属病院において  
「プレコンセプションケア外来」を立ち上げ

2021年～2024年3月：厚生労働省及びこども家庭庁 母子保健課

2024年4月～：東京慈恵会医科大学附属病院

# 目次

## イントロダクション

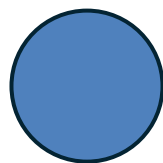
基礎疾患がある妊産婦や  
妊娠を希望する方への  
プレコンセプションケア

## 事例①

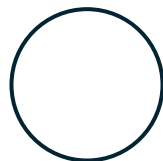
将来の妊娠・出産やライフデザイン  
に関心がある若年世代への  
プレコンセプションケア

## 事例②

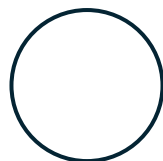
# 目次



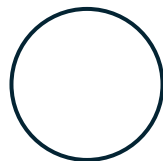
## イントロダクション



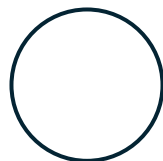
基礎疾患がある妊産婦や  
妊娠を希望する方への  
プレコンセプションケア



## 事例紹介①



将来の妊娠・出産やライフデザイン  
に関心がある若年世代への  
プレコンセプションケア



## 事例紹介②

# プレコンセプションケア（PCC）の定義

- ・ **プレコンセプションケア（PCC）** の概念は、妊娠転帰を改善するために「**妊娠前に健康状態を整え、将来の妊娠に備えるためのケア**」から始まったが、その範疇は広がってきている。

## 米国CDC（2006）

女性の健康と妊娠転帰に対する医学的・行動的・社会的リスクを、予防と管理を通じて特定・修正することを目的とした一連の介入。

## WHO（2012）

妊娠前の女性とカップルに医学的・行動学的・社会的な保健介入を行うこと。

# PCCの対象や目的

## 対象

妊娠前の女性



妊娠前の女性とカップル



全ての若者世代

## 目的

妊娠転帰の改善



性成熟期の健康増進



将来にわたる健康保持・増進



次世代の健康改善

▶ 対象や目的は変化してきている

# 行政文書におけるPCCの定義

---

女性やカップルを対象として将来の妊娠のための健康管理を促す取組をいう。

成育医療等基本方針（令和3年2月9日閣議決定）

男女ともに性や妊娠に関する正しい知識を身に付け、健康管理を行うよう促すこと。

成育医療等基本方針（改定）（令和5年3月22日閣議決定）

こども大綱（令和5年12月22日閣議決定）

こども未来戦略～次元の異なる少子化対策の実現に向けて～（令和5年12月22日閣議決定）

男女ともに性や妊娠・出産に関する正しい知識を身に付け、健康管理を行うよう促すこと。

経済財政運営と改革の基本方針2024（令和6年6月21日閣議決定）

# 参考：PCCの記載について

## 成育医療等基本方針（改定）（令和5年3月22日閣議決定）＜抜粋＞

不妊，予期せぬ妊娠，性感染症等への適切な相談支援や，妊娠・出産，産後の健康管理に係る支援を行うため，男女ともに性や妊娠に関する正しい知識を身に付け，健康管理を行うよう促すプレコンセプションケアの推進を含め，需要に適確に対応した切れ目のない支援体制を構築する。

## こども大綱（令和5年12月22日閣議決定）＜抜粋＞

不妊，予期せぬ妊娠や基礎疾患を持つ方の妊娠，性感染症等への適切な相談支援や，妊娠・出産，産後の健康管理に係る支援を行うため，男女ともに性や妊娠に関する正しい知識を身に付け，栄養管理を含めた健康管理を行うよう促すプレコンセプションケアの取組を推進するとともに，家庭生活に困難を抱える特定妊婦等を含む当事者が必要としている支援に確実につながることができるよう，切れ目のない支援体制を構築する。（略）

国立成育医療研究センターに，「女性の健康」に関するナショナルセンター機能を持たせ，女性の健康や疾患に特化した研究やプレコンセプションケアを含む成育医療等に関する研究，相談支援，人育成等を進める。

## 経済財政運営と改革の基本方針2024（令和6年6月21日閣議決定）＜抜粋＞

相談支援等を受けられるケア体制の構築等プレコンセプションケアについて5か年戦略を策定した上で着実に推進する。



# PCCと関連すると考えられるもの

健康増進

包括的  
性教育

ライフ  
コース  
アプローチ

周産期  
予後改善

ヘルス  
リテラシー

避妊

SRHR

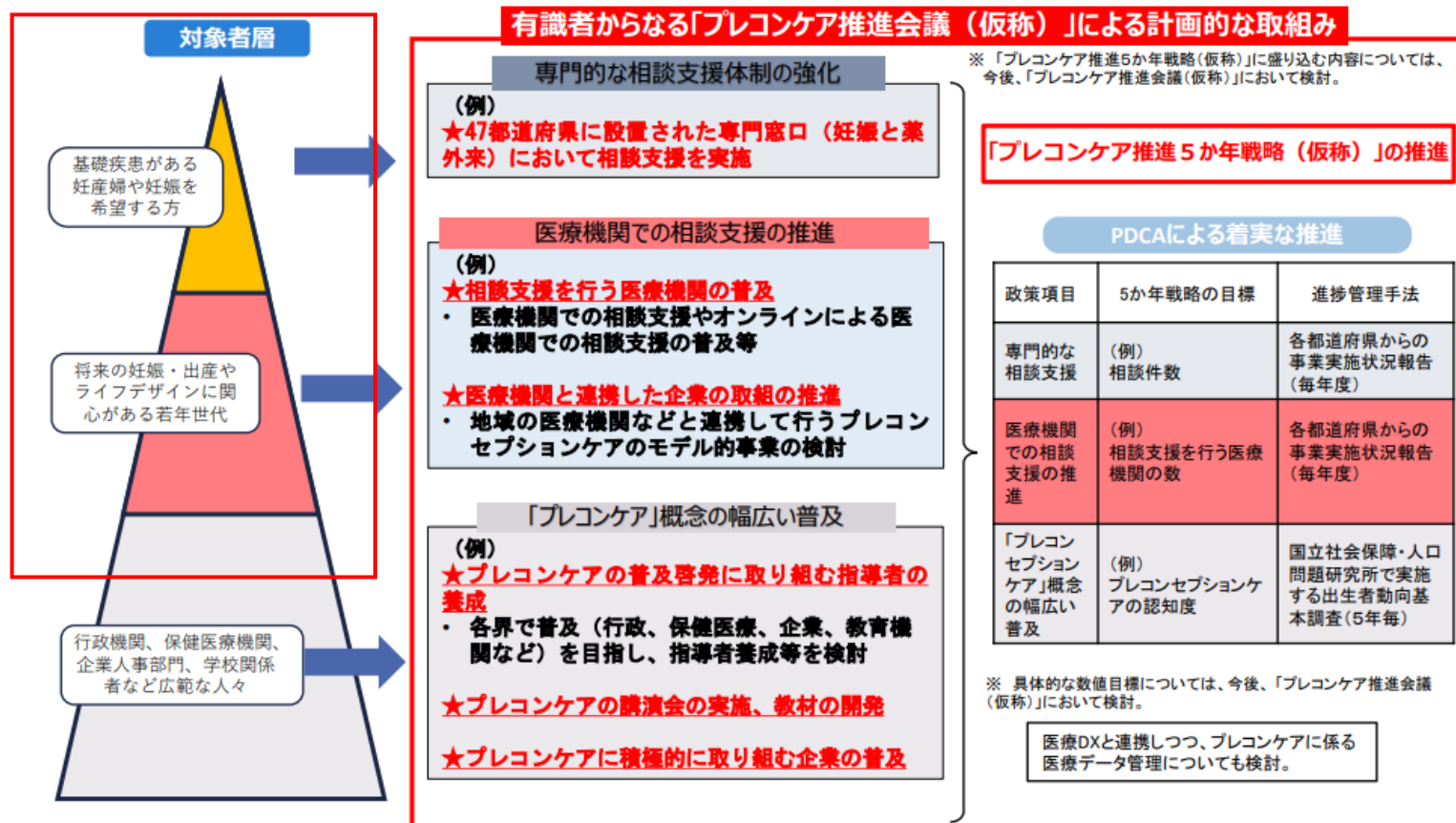
DoHAD

- PCCの範疇が広がったことから、各々のPCCが存在し得る。
- 今後もその範疇は変化していく可能性がある。

# 行政の方向性

## ＜参考＞「プレコンケア推進5か年戦略（仮称）」（検討のイメージ）

- プレコンセプションケアとは、男女を問わず将来の妊娠・出産に備えた健康管理や情報提供を進める取組み。若年世代の将来のライフデザイン（人生設計）に資する視点から、プレコンセプションケアに関する知識の普及とともに、こどもを持つことを考えている女性やカップルが適切な相談支援等を受けることができるケア体制を構築するため、「プレコンケア推進5か年戦略（仮称）」を検討する。



# 本講義で取扱う内容について

---

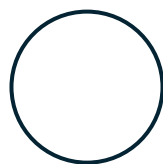
- ・ 基礎疾患がある妊産婦や妊娠を希望する方

▶ 妊娠を希望される方や妊婦に対して、医療機関において、実施されるPCC.

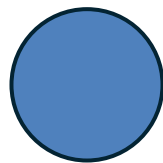
- ・ 将来の妊娠・出産やライフデザインに関心がある若年世代

▶ 妊娠の希望の有無に関わらず、主に若い世代を対象に実施されるPCC.  
医療機関でも医療機関以外でも実施可能.

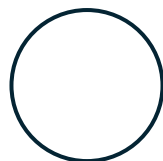
# 目次



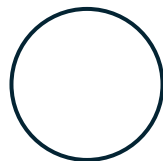
イントロダクション



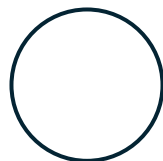
基礎疾患がある妊産婦や  
妊娠を希望する方への  
プレコンセプションケア



事例①



将来の妊娠・出産やライフデザイン  
に関心がある若年世代への  
プレコンセプションケア



事例②

# 基礎疾患のある方へのPCC具体例

## ✓ 基礎疾患の妊孕性への影響

例 子宮内膜症により妊孕性が下がる

## ✓ 基礎疾患が妊娠に与える影響

例 慢性腎臓病により妊娠高血圧症候群のリスクが上がる

## ✓ 基礎疾患が胎児に与える影響

例 糖尿病で巨大児のリスクが上がる

## ✓ 妊娠が基礎疾患に与える影響

例 妊娠により潰瘍性大腸炎が悪化しやすい

## ✓ 薬剤が胎児に与える影響（催奇形性，胎児毒性）

例 ワルファリンカリウムの催奇形性

## ✓ 妊娠が薬の血行動態に与える影響

例 薬剤代謝の活性化により血中濃度低下

## 基礎疾患のある妊産婦等への妊娠と薬に関する相談支援加算（性と健康の相談センター事業の一部）【新規】

令和6年度予算：性と健康の相談センター事業 7.8億円の内数

### 目的

- 基礎疾患を抱える妊産婦や妊娠を希望する女性等に対して、妊娠・授乳中の薬物治療に関する相談支援を実施する。

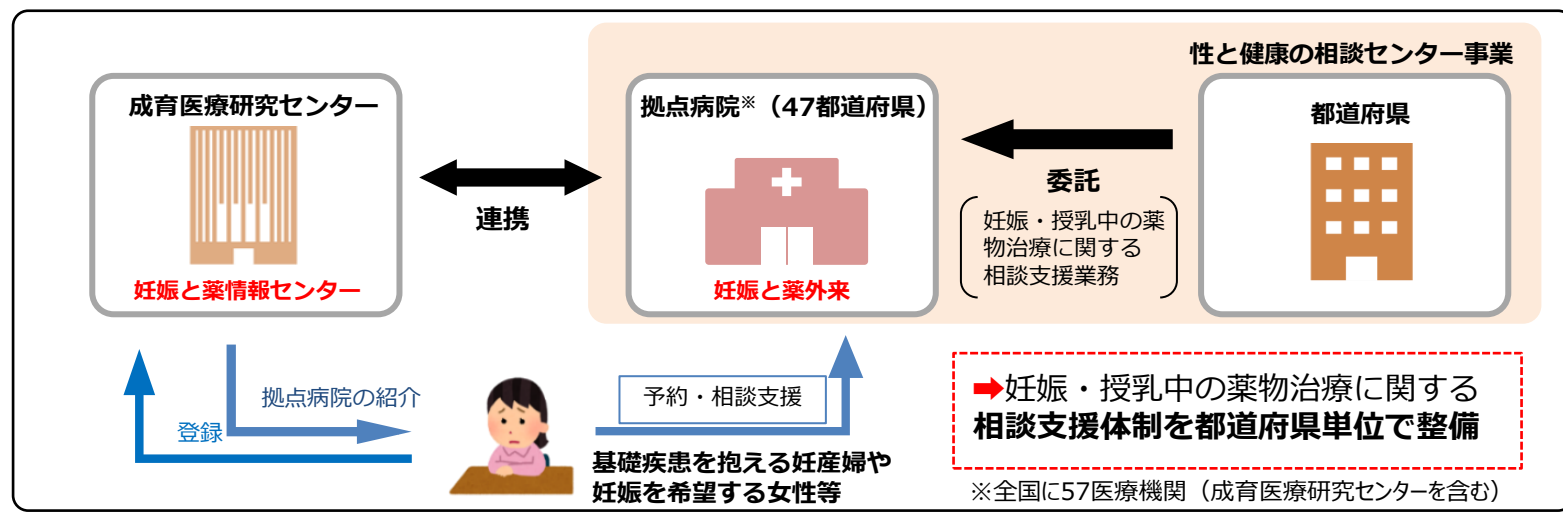
### 内容

#### ◆ 対象者

基礎疾患を抱える妊産婦や妊娠を希望する女性等

#### ◆ 内容

現在、全国47都道府県の拠点病院に設置された「妊娠と薬外来」が、国立成育医療研究センターの「妊娠と薬情報センター」と連携して、妊娠・授乳中の薬物治療に関して不安を持つ方に対する相談支援を実施している。「性と健康の相談センター事業」において、拠点病院に当該相談支援を委託することで、都道府県単位での相談支援体制の整備を進める。



### 実施主体等

- ◆ 実施主体：都道府県
- ◆ 補助率：国1/2、都道府県1/2

### 補助単価

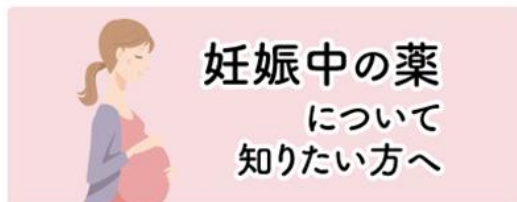
- ◆ 補助単価：相談1件当たり 7,700円（※）

※ただし、実際の相談費用の7割相当額を上限とする。

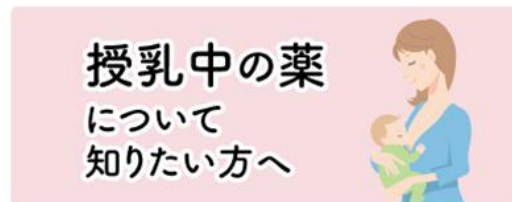
## 妊娠と薬情報センター

[English](#)

妊娠と薬情報センターは厚生労働省事業として、2005年10月に国立成育医療研究センター内に設置されました。妊娠中や妊娠を希望される女性で、妊娠・授乳中の薬物治療に関して不安を持つ方のご相談に対応しています。全国47都道府県の拠点病院に「妊娠と薬外来」を設置しており、各地域の相談外来で相談を受けていただくことができます。さらに、同意をいただいた相談者や登録調査への協力者を対象に、妊娠転帰や児の予後に関する調査を行い、それらの調査結果に基づいて妊娠中の薬剤使用に関する安全性のエビデンスを創出しています。



妊娠中や妊娠希望の方の、お薬の相談を行っています。相談のお申し込み方法についてはこちらをご覧ください。



授乳中のお薬の服用に関する考え方や安全性情報を紹介しています。授乳中のお薬相談も行っています。

### 妊娠と薬情報センターのこれまでの相談実績

\* 自治体・医療者の方もこちらをご参考になさってください



「妊娠と薬外来」が設置されている全国の拠点病院はこちら





# 妊娠と薬情報センター拠点病院一覧

## 拠点病院 施設名

### 北海道・東北地方

北海道：北海道大学病院  
 青森：弘前大学医学部附属病院  
 岩手：岩手医科大学附属病院  
 秋田：秋田赤十字病院  
 山形：山形大学医学部附属病院  
 宮城：東北大学病院  
 福島：福島県立医科大学附属病院

### 関東地方

★東京：国立成育医療研究センター  
 東京：虎の門病院  
 東京：帝京大学医学部附属病院  
 東京：昭和大学病院  
 茨城：筑波大学附属病院  
 栃木：済生会宇都宮病院  
 栃木：自治医科大学附属病院  
 群馬：前橋赤十字病院  
 埼玉：埼玉医科大学病院  
 埼玉：自治医科大学附属  
 さいたま医療センター  
 千葉：千葉大学医学部附属病院  
 東京：虎の門病院  
 神奈川：横浜市立大学附属病院  
 神奈川：横浜市立大学附属  
 市民総合医療センター

### 中部地方

山梨：山梨県立中央病院  
 山梨：山梨大学医学部附属病院  
 新潟：新潟大学医歯学総合病院  
 長野：信州大学医学部附属病院  
 富山：富山大学附属病院  
 石川：金沢医療センター  
 福井：福井大学医学部附属病院  
 静岡：浜松医科大学医学部附属病院  
 愛知：日本赤十字社愛知医療センター  
 名古屋第一病院  
 愛知：名古屋市立大学病院  
 岐阜：長良医療センター  
 岐阜：岐阜大学医学部附属病院

### 近畿地方

三重：三重大学医学部附属病院  
 滋賀：滋賀医科大学医学部附属病院  
 京都：京都府立医科大学附属病院  
 奈良：奈良県立医科大学附属病院  
 大阪：大阪母子医療センター  
 大阪：大阪大学医学部附属病院  
 大阪：大阪医科大学附属病院  
 和歌山：日本赤十字社和歌山医療センター  
 兵庫：神戸大学医学部附属病院

### 中国地方

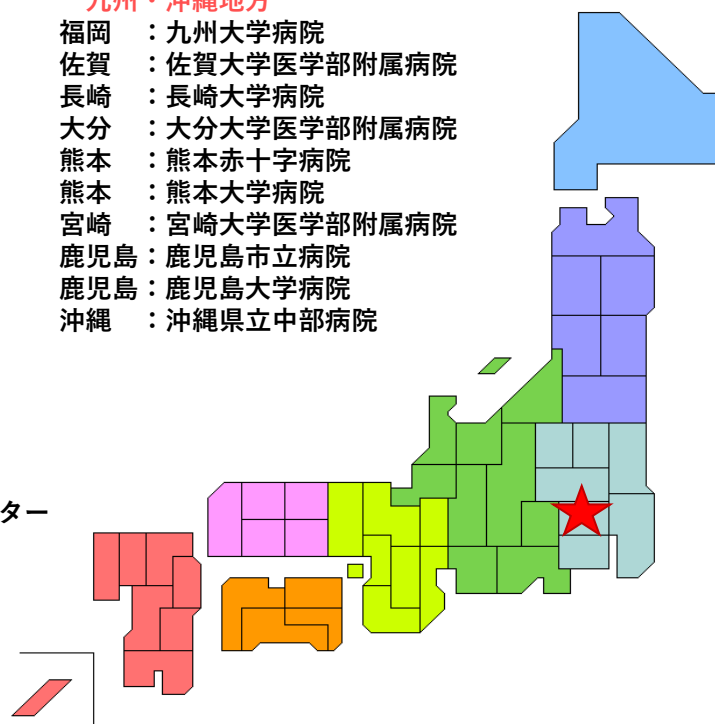
鳥取：鳥取大学医学部附属病院  
 岡山：岡山医療センター  
 岡山：岡山大学病院  
 島根：島根大学医学部附属病院  
 広島：広島大学病院  
 山口：山口大学医学部附属病院

### 四国地方

徳島：徳島大学病院  
 香川：四国こどもととなの医療センター  
 愛媛：愛媛大学医学部附属病院  
 高知：高知大学医学部附属病院

### 九州・沖縄地方

福岡：九州大学病院  
 佐賀：佐賀大学医学部附属病院  
 長崎：長崎大学病院  
 大分：大分大学医学部附属病院  
 熊本：熊本赤十字病院  
 熊本：熊本大学病院  
 宮崎：宮崎大学医学部附属病院  
 鹿児島：鹿児島市立病院  
 鹿児島：鹿児島大学病院  
 沖縄：沖縄県立中部病院





# 妊娠と薬の基礎知識

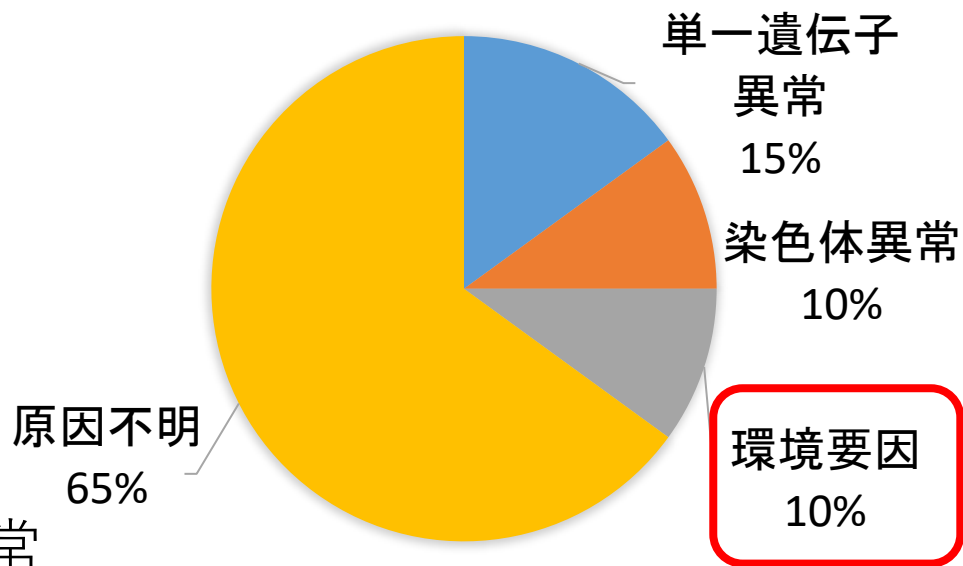
奇形ではなく 先天異常

流産の自然発生率 15%

先天異常の自然発生率 3%

環境因子の一部に  
母体薬剤投与による先天異常

先天異常の分類



# 妊娠と薬の基礎知識

---

## 受精後2週間（妊娠4週）まで

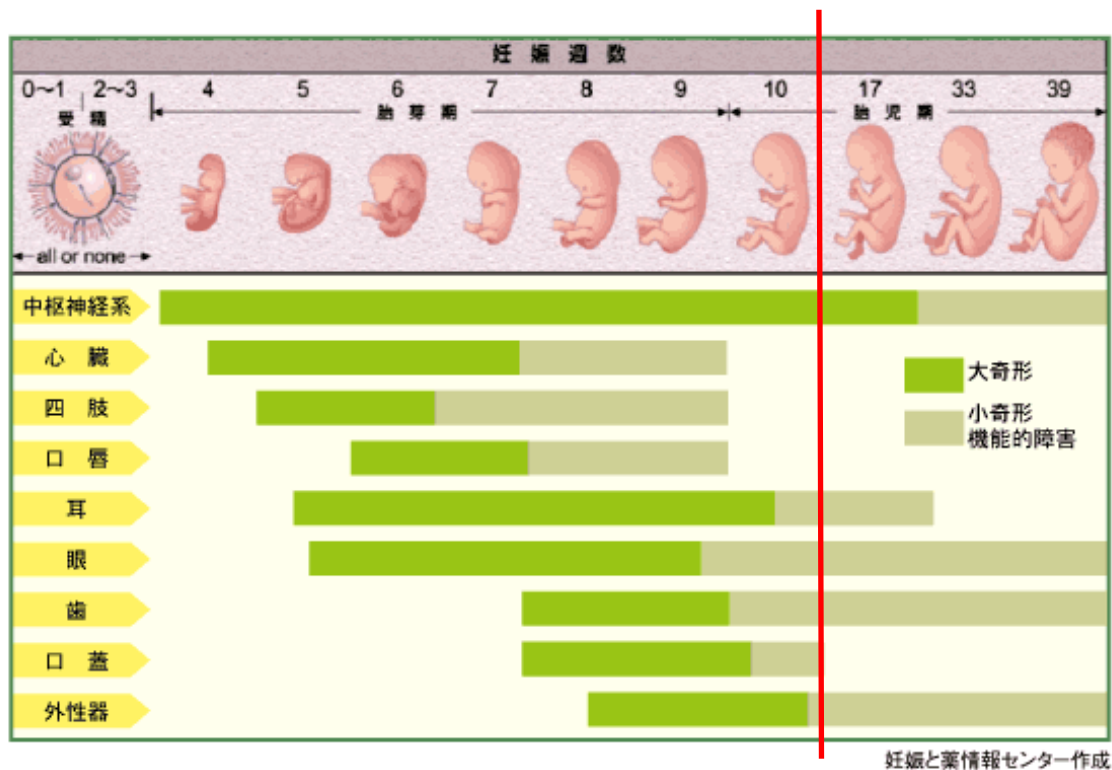
この週数まで、薬剤などの影響が出た場合は、致死性になる。  
つまり、この時期に薬を飲んでいても、  
その後胎児が発育していれば、その薬の影響はなかったと考える。

All or none

※一部の薬は体内に長期間残存するため、この考え方を適用できない場合がある。

# 妊娠と薬の基礎知識

## □ 妊娠週数と発生



催奇形性では妊娠12週位までが重要。  
その時期以降に催奇形性のある薬を飲んでも原則奇形は起こらない。

## 薬が妊娠中に問題になる時期

- ①催奇形性：妊娠初期が重要
- ②胎児毒性：妊娠中期以降でも注意が必要

## 催奇形性の基本的な考え方・対応

- 薬剤の服用関係なく、先天異常は約3%の確率でおこる.
- 薬剤を内服していて、3%の確率を上昇させるか否かが問題.
- リスクのある薬剤は、3%からどれくらい上昇するか.
- リスクのない薬剤の場合も、3%のリスクはある.

# 妊娠と薬の基礎知識

---

**胎児毒性：妊娠中期以降でも注意が必要**

**アルコール：胎児アルコール症候群**

**ACE阻害剤：胎児腎機能異常**

**NSAIDs：動脈管早期閉鎖**

**バルプロ酸：児のIQ低下**

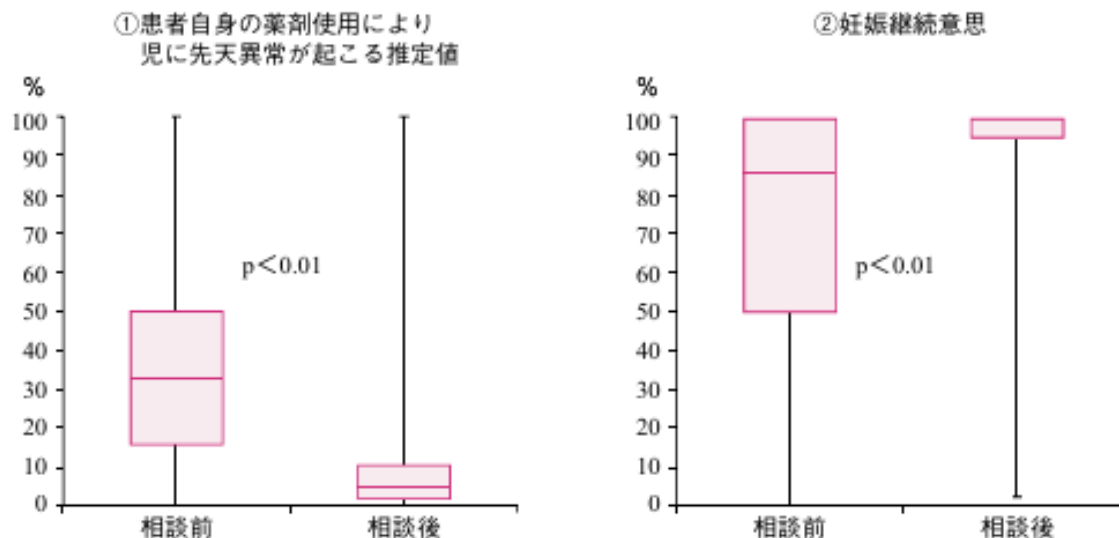
# 相談される方の認識について

妊娠と薬情報センターにおいて

①患者自身の薬剤使用により児に先天異常が起こる推定値

②妊娠継続意思について

相談前後にビジュアルアナログスケールを用いて測定した結果



妊娠中の薬剤使用による胎児への影響については、妊婦自身は過剰に先天異常のリスクを認識していることが確認され、妊娠継続へも影響を与えることが示された。

# インターコンセプションケア

女性およびその次児の健康転帰を改善するために  
妊娠と妊娠の間に母親に提供されるケア

## 前回妊娠

### ✓ 妊娠高血圧症候群

将来的な生活習慣病のリスク・次回妊娠時の予防

### ✓ 妊娠糖尿病

将来的な糖尿病のリスク・次回妊娠時の予防

### ✓ 子宮内胎児発育不全

原因検索・次回妊娠時の予防

### ✓ 早産

原因検索・次回妊娠時の予防

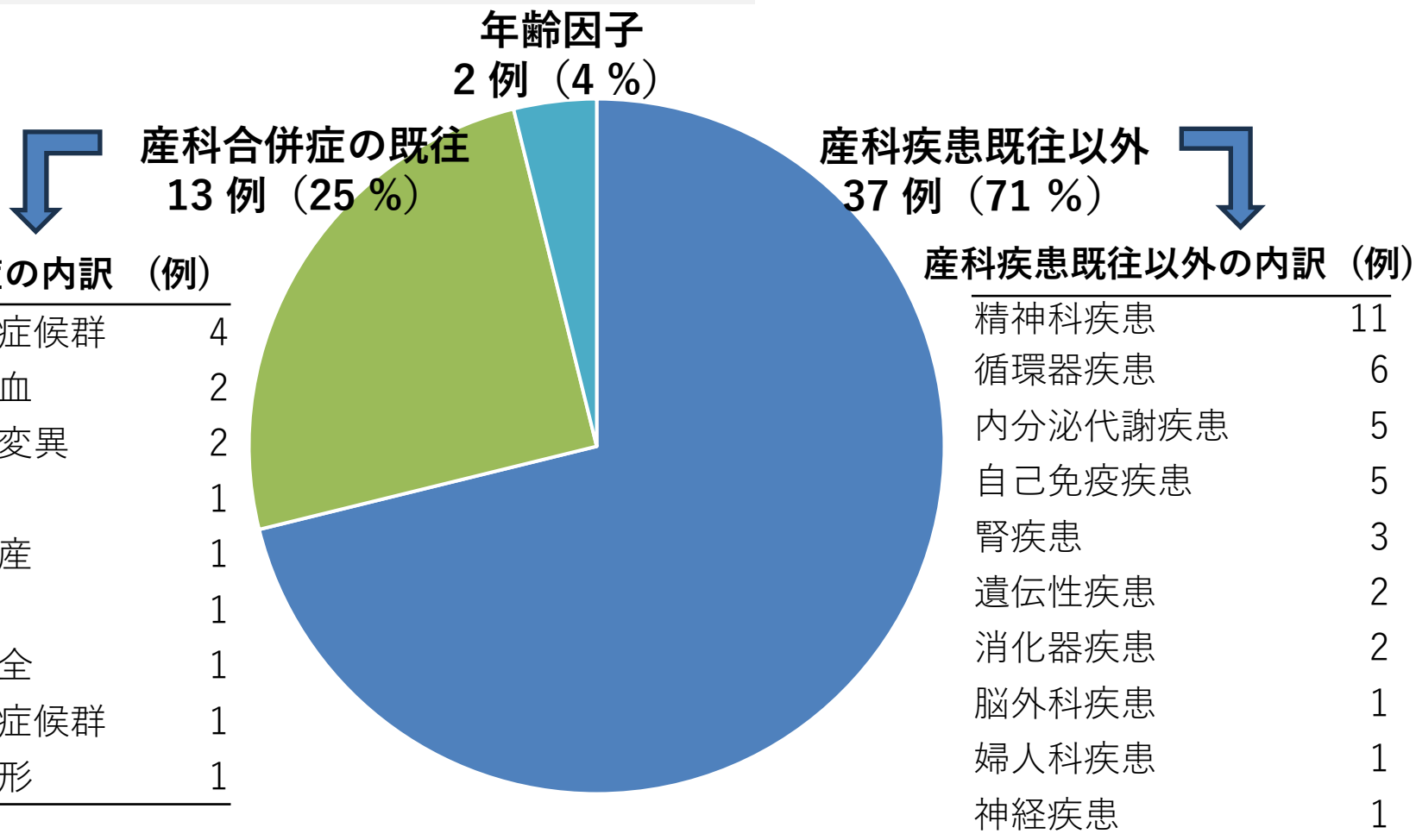
### ✓ 先天異常・遺伝疾患

原因検索，再発の推定・次回妊娠時の予防



# 慈恵医大附属病院 PCC外来

## 相談内容（疾患）の内訳① (2020年～2022年：52件)



\* 重複あり

## 相談内容の内訳②（2020年～2022年：52件）

### 産科疾患以外の既往者またはその他

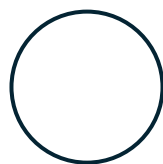
|             | 合計(例) (%) |      |
|-------------|-----------|------|
| 原疾患の妊娠への影響  | 21        | 39.6 |
| 使用薬剤の妊娠への影響 | 16        | 30.2 |
| 妊娠の可否       | 7         | 13.2 |
| 妊娠中の管理      | 7         | 13.2 |
| その他         |           |      |
| 遺伝リスク       | 1         | 1.7  |
| 妊娠による再発のリスク | 1         | 1.7  |

### 産科疾患の既往者

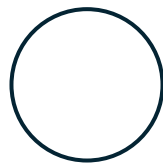
|             | 合計(例) (%) |      |
|-------------|-----------|------|
| 妊娠中の管理      | 7         | 41.2 |
| 妊娠の可否       | 4         | 23.5 |
| 原疾患の妊娠への影響  | 1         | 5.9  |
| 使用薬剤の妊娠への影響 | 0         | 0    |
| その他         |           |      |
| 合併症の反復のリスク  | 5         | 29.4 |

\* 重複あり

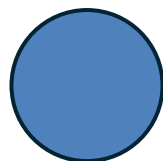
# 目次



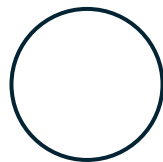
イントロダクション



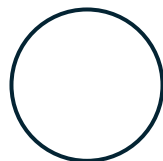
基礎疾患がある妊産婦や  
妊娠を希望する方への  
プレコンセプションケア



**事例①**



将来の妊娠・出産やライフデザイン  
に関心がある若年世代への  
プレコンセプションケア



事例②

## 事例①：多発性筋炎の方へのPCC

✓ 30代女性

✓ 主な使用薬剤：メトトレキサート（免疫抑制剤）  
アバタセプト（生物学的製剤）  
タクロリムス（免疫抑制剤）

✓ 採血データ：抗SS-A抗体 陽性

※ 多発性筋炎：主に筋肉に炎症が起こる自己免疫性疾患

## 事例①：多発性筋炎の方へのPCC

### 疾病と妊娠に関する情報提供

- 多発性筋炎合併妊娠は、妊娠高血圧症候群や流早産のリスクが高いと言われているが、疾病の病勢が予後に影響することから、薬でコントロールすることが重要。
- 抗SS-A抗体陽性は、胎児完全房室ブロックとの関連が言われている。もし発症した場合は、経母体投薬による胎児治療を行う可能性があること。  
(相談当時は) 臨床試験が行われていること。

# 事例①：多発性筋炎の方へのPCC

## 薬についての情報提供

### メトトレキサート：

流産や催奇形性があるため，中止すべき薬剤。

### アバタセプト：

比較的新しい薬であるのでデータは少ないものの，現時点でのデータでは，先天異常のリスクは上昇しない。

生まれた児に対して生ワクチンは控えること。

### タクロリムス：

以前は妊娠中禁忌であったが，先天異常のリスクは上昇しないというデータより，添付文書の改訂がなされ，現在は有益性投与

▶ メトトレキサートを漸減・中止し，その他の薬については，減量・中止をせず，妊娠を検討する方針とした。

## 事例①：多発性筋炎の方へのPCC

---

### 経過

- 相談後，約1年で妊娠が判明した.
- 妊娠高血圧症候群や流早産の発症に注意しつつ，胎児房室ブロックの発症しやすい時期には，受診回数を増やして，周産期管理を行った.
- 妊婦健診中に，出産後の授乳についても相談を行い，投薬を行いながら授乳を行う方針とした.
- 胎児・母体とも大きな問題が起こることなく，妊娠38週に経膈分娩にて出産.

## 事例①の小括

---

- メトトレキサートのように、妊娠前に中止すべき薬もあるが、明らかに催奇形が示されている薬が、多いわけではない。
- 薬を継続するか中止するか、各々のリスク・ベネフィットを伝える必要がある。
- 最近広く使用されるようになった、生物学的製剤には、出生した児のワクチンについて注意が必要なものがある。
- 最新のデータや知見に基づいた情報提供が重要である。

※参考 産科ガイドライン2024（日本産科婦人科学会）に記載のある  
催奇形性を示す明らかな証拠が報告されている代表的薬剤  
カルマバマゼピン・フェニトイン・トリメタジオン、フェノバルビタール、  
バルプロ酸ナトリウム、ミソプロストール、チアマゾール、ダナゾール、  
ビタミンA（大量）、エトレチナート、ワルファリンカリウム、メトトレキサート、  
ミコフェノール酸モフェチル、シクロフォスファミド、サリドマイド

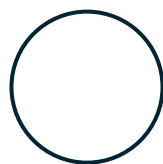


# 基礎疾患のある方へのPCC 小括

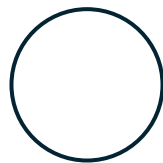
---

- 妊娠転帰の改善というPCCの当初の目的と合致する.
- 疾病や投薬があることにより、妊娠してはいけないと思っている方もいることから、そのような方達に、妊娠することも可能であるということを伝える意義もある.
- 最新の知見を元に、情報提供を行う必要があることから、妊娠と薬外来やPCCの専門外来において行うことが望ましい.
- インターコンセプションケアの重要である.

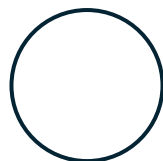
# 目次



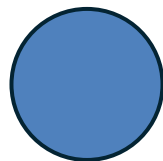
イントロダクション



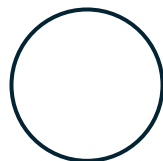
基礎疾患がある妊産婦や  
妊娠を希望する方への  
プレコンセプションケア



事例紹介①



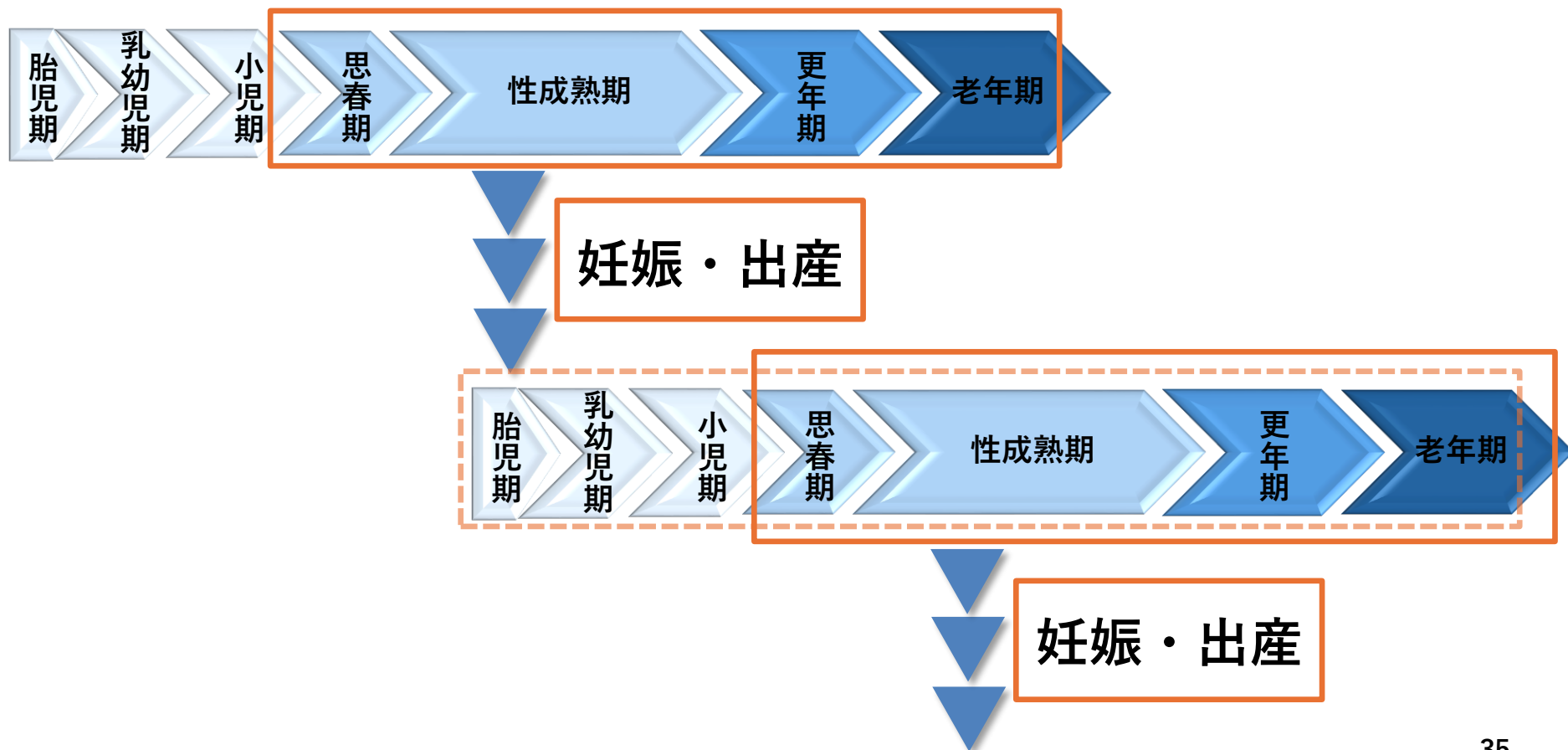
将来の妊娠・出産やライフデザイン  
に関心がある若年世代への  
プレコンセプションケア



事例紹介②

# PCCの重要性

- 一生涯に通じる影響
- 世代を超える影響



# 将来の妊娠・出産やライフデザインに関心がある 若年世代へのPCCで行うこと

## ライフスタイルとヘルスケア

- ・ ライフプランを考える
- ・ 適正体重のキープ
- ・ 禁煙、受動喫煙の回避
- ・ アルコールを控える、禁酒
- ・ 危険ドラッグ、有害な薬品を避ける
- ・ 葉酸の摂取
- ・ 適度な運動
- ・ メンタルヘルス

ライフ  
スタイル

- ・ 生活習慣病のチェック
- ・ がんのチェック
- ・ 感染症に注意（性感染症など）
- ・ ワクチン接種の確認（風疹・HPVなど）
- ・ 持病と妊娠について知る（妊娠と薬など）
- ・ 家族の病気について知る
- ・ かかりつけ婦人科医をつくる
- ・ 歯のケア

ヘルス  
ケア

プレコンセプションケア・チェックシート, 国立成育医療研究センターより改変  
Planning for Pregnancy, Centers for Disease Control and Preventionより改変

東京慈恵会医科大学 永田千映先生より提供

# PCCの具体的な内容例

---

✓ 適正体重の維持

✓ 栄養摂取

✓ タバコ・アルコール

✓ 感染症

✓ 女性特有の不調・疾患

ライフスタイル

ヘルスケア

# 適正体重の維持

- ・ 肥満もやせも生涯にわたる健康のみならず、周産期予後に影響を与える

## 肥満 (BMI $\geq 25$ )

生涯にわたる  
リスク

女性の健康に  
関するリスク

周産期の  
リスク

児の将来の  
リスク

生活習慣病  
運動器疾患

不妊症

妊娠高血圧症候群  
妊娠糖尿病  
巨大児

肥満  
生活習慣病

## やせ (BMI $< 18$ )

骨粗鬆症



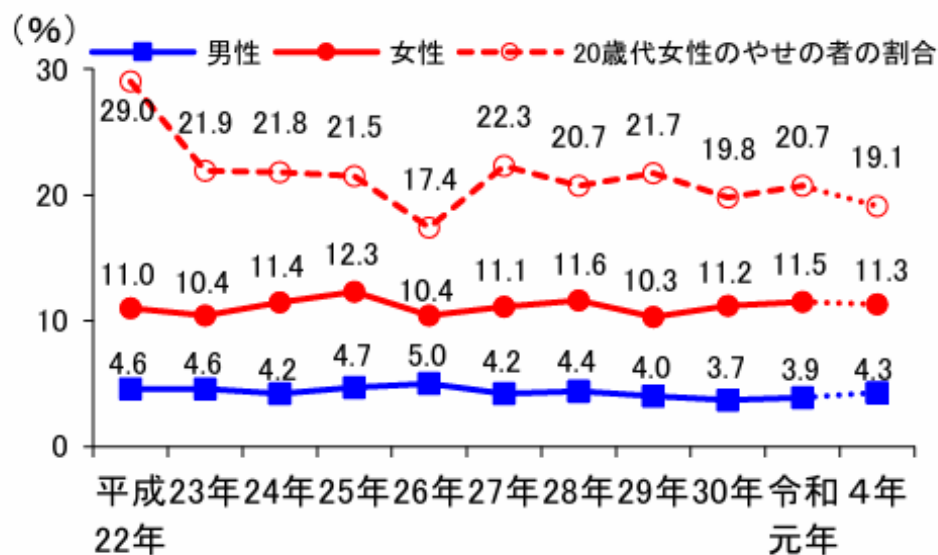
無月経

早産  
低出生体重児

生活習慣病

# 適正体重の維持

- ・本邦において、20代の肥満者は9.2%，やせは19.1%とされる。  
（令和4年度国民・栄養調査）
- ・肥満については、若い世代の女性を対象とした介入（食事，運動，  
カウンセリング）により体重減少や自然妊娠率が上昇する報告がある。
- ・やせについては、マスメディア等の社会的影響か、若者女性の90%以上が  
やせ願望があることにも課題がある。



令和4年度国民・栄養調査概要

（令和2年及び3年は調査中止）

## 葉酸による神経管閉鎖不全予防

- 神経管閉鎖不全症の発症頻度は、1000出生に対し0.9であり、胎児奇形の中で、心奇形に次いで2番目に頻度が高い
- 妊娠前からの葉酸摂取により神経管閉鎖不全発症のリスクが低減する.
- 日本における研究では、葉酸摂取により有意な差が出なかったが、減少している傾向はあった.
- 日本産科婦人科学会ガイドラインでは、「妊娠前からの市販のサプリメントにより1日0.4mgの葉酸を補充することで、児の神経管閉鎖障害発症リスクの低減が期待できると説明する」とされている.



# タバコ・アルコール

---

- 喫煙は、流早産、死産、先天異常等の周産期合併症との関連が指摘されていることから、妊娠前からの禁煙が強く推奨される。
- また、受動喫煙でも上昇することや出生後において、乳幼児突然死症候群との関連も指摘されていることも重要である。
- 妊娠前のアルコール摂取と妊娠・胎児への影響は明らかではないが、継続して妊娠中に飲酒することで、胎児アルコール症候群のリスクが上昇するため、アルコールに依存がありそうな場合などは、妊娠前からの適切な介入が必要である。

# 感染症

性感染症と母子感染症についての啓蒙や、  
検査・治療、ワクチンなどが重要である。

| 感染症               | 生殖・周産期・児への影響    | ワクチン |
|-------------------|-----------------|------|
| HPV（子宮頸がん）        | 手術による早産リスク，子宮全摘 | ○    |
| HPV<br>（尖圭コンジローマ） | 児の呼吸器乳頭腫症       | ○    |
| 梅毒                | 流産・死産・先天梅毒      |      |
| 淋菌                | 不妊・流早産・新生児結膜炎   |      |
| クラミジア             | 不妊・新生児クラミジア肺炎   |      |
| 性器ヘルペス            | 新生児ヘルペス感染症      |      |
| 風疹ウィルス            | 先天性風疹症候群        | ○    |
| HBV               | HBV母子感染         | ○    |
| HCV               | HCV母子感染         |      |

# 女性特有の不調・疾患

## 子宮筋腫

- 35歳以上の女性の20～30％が罹患.
- 過多月経やそれによる貧血.
- 子宮内腔に影響を与える場合は、不妊の原因となりうる.
- 流早産や常位胎盤早期剥離、胎位異常等、周産期合併症のリスクが上昇する.
- 手術自体が、子宮破裂など周産期予後に影響する.

## 子宮内膜症

- 生殖年齢の約10％が罹患.
- 月経困難症や不妊、将来的には卵巣がんの発生リスクとなる.
- 早産や前置胎盤等の周産期合併症のリスクが上昇する.
- ホルモン療法や手術.
- 挙児希望がある場合はホルモン療法は勧められない.

# 女性特有の不調・疾患

---

## PCOS（多のう胞性卵巣症候群）

- 月経異常，多のう胞卵巣，ホルモン検査で診断.
- 月経異常や不妊の主要な原因のひとつ.
- 生殖年齢女性の5～8％に発症.
- 月経不順，無月経，ニキビ，多毛，肥満など多彩な症状.
- 放置すると子宮内膜がんのリスク.
- 糖尿病，脂質代謝異常，心血管疾患などのハイリスク.

# 女性特有の不調・疾患

## PMS（月経前症候群）

➤ 月経開始の3～10日位前に現れる心身の不調

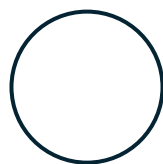
### 情緒的症状

- ・ 抑うつ
- ・ 怒りの爆発
- ・ 易刺激性・いらだち
- ・ 不安
- ・ 混乱
- ・ 社会的引きこもり

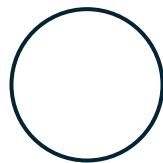
### 身体的症状

- ・ 乳房緊満感・腫脹
- ・ 腹部膨満感
- ・ 頭痛
- ・ 関節痛・筋肉痛
- ・ 体重増加
- ・ 四肢の腫脹・浮腫

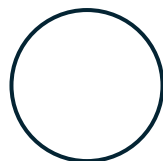
# 目次



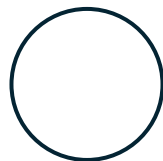
イントロダクション



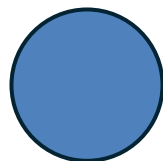
基礎疾患がある妊産婦や  
妊娠を希望する方への  
プレコンセプションケア



事例①



将来の妊娠・出産やライフデザイン  
に関心がある若年世代への  
プレコンセプションケア



事例②

## 事例②：月経困難症の方へのPCC

月経困難症を主訴に受診された方への  
PCCを含めた医療提供

- ✓ 30歳代女性 受診時において挙児希望なし
- ✓ BMI 26
- ✓ 3cm大の内膜症性卵巣のう胞があり
- ✓ 子宮内膜症の診断

## 事例②：月経困難症の方へのPCC

### 治療として情報提供

- 大きさから、手術ではなくホルモン療法が適切である。
- ホルモン療法を行っても症状改善がない、のう胞が大きくなるなら手術を検討する。
- 治療の有無に関わらず、のう胞ががん化することがあるので定期受診が必要。

### PCCとして情報提供

- ホルモン療法中は、排卵が抑えられたため妊娠することがほとんどない。
- 性感染症を避けるため避妊具は使用すること。
- 不妊症の原因や周産期合併症のリスクになることから、治療は継続していくことが望ましい。
- 挙児希望となった場合は、薬を中断する。
- すぐに妊娠しない場合は、早めに不妊の検査・治療に移行する方がよい。
- 減量で、将来の健康や妊娠、子どもの予後を改善することができる。



## 事例②：月経困難症の方へのPCC

---

### 経過

- ホルモン療法で、月経困難症は改善傾向、のう胞は縮小傾向.
- 2年後、結婚し挙児希望のため治療を中止.
- 本人の希望もあり、生殖外来（不妊症外来）に紹介し治療を開始.
- 人工授精にて妊娠し、出産となる.
- 出産1年後、子宮内膜症のフォローを再開.

## 事例②の小括

---

- 月経困難症に対して、受診をしたことにより、子宮内膜症の存在が明らかになったことやホルモン療法の開始につながった。
- 受診していなければ、手術を行う必要があるまで悪化した可能性や不妊症がより重症になった可能性があった。

### 受診することの重要性

- 子宮内膜症の治療のみではなく、将来を見据えたPCCを行ったことが、ライフプランを考えるきっかけになり、またライフプランに沿って進むことができたと考えられた。

### PCCの重要性

## 将来の妊娠・出産やライフデザインに関心がある 若年世代へのPCC 小括

---

- 将来の妊娠・出産やライフデザインに関心がある若年世代へのPCCは、かかりつけ医として伴走して提供することも可能である。
- ライフスタイルに関する内容であれば、医療機関以外で行うこともできるが、ヘルスケアに関しては医療機関の果たす役割が大きい。
- 一方で、医療機関のみで対応するのは困難であることから、様々なチャンネルから若年世代へPCCを提供することが望ましいと考えられる。

# まとめ

---

- PCCは各々によって捉え方が異なるため、本日の内容は、医療機関におけるPCCの一部である。
- 専門性の高いPCCは、医療機関が担う必要がある。
- 医療機関においては、PCCから妊娠と出産まで連続的に管理が行えること、ライフコースに伴走する形でフォローができることより、点ではなく、線で関わることも可能である。
- 長期的な視点に立ち、PCCを行っていくことが重要である。